

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年11月14日

**【四半期会計期間】** 第83期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社メタルアート

**【英訳名】** METALART CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 多田修

**【本店の所在の場所】** 滋賀県草津市野路三丁目2番18号

**【電話番号】** 077(563)2111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 総務部長 安居弘

**【最寄りの連絡場所】** 滋賀県草津市野路三丁目2番18号

**【電話番号】** 077(563)2111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 総務部長 安居弘

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	13,477,914	13,313,671	25,707,180
経常利益 (千円)	1,014,800	1,146,241	1,650,141
四半期(当期)純利益 (千円)	604,625	701,889	1,014,504
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	565,534	594,525	1,057,245
純資産額 (千円)	9,212,666	10,172,524	9,704,376
総資産額 (千円)	21,419,665	22,870,547	21,976,735
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	38.35	44.53	64.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.0	44.5	44.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	858,859	2,796,607	1,947,790
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	280,747	1,759,551	697,641
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	147,578	68,602	153,893
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	905,206	2,565,262	1,570,928

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.61	24.97

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしていません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間において、新規設立によりPT. METALART INDONESIA（連結子会社）を連結の範囲に含めています。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

当社は、当社の子会社であるPT.METALART INDONESIA に関し、平成25年8月30日開催の取締役会において、PT.ASTRA OTOPARTS Tbk との間で、合弁契約を締結することを決議し、平成25年9月2日付けにて合弁契約を締結いたしました。PT.ASTRA OTOPARTS Tbk は、インドネシア有数の自動車部品会社であり、事業経験や営業力を活かしたサポートを得て、円滑な事業立上と今後の事業拡大及び効率的な事業運営を目的としています。なお、この合弁契約に基づき、PT.ASTRA OTOPARTS Tbk は、当社の子会社である株式会社メタルテックスの持ち株の譲渡という形で、PT.METALART INDONESIA に対し30%の出資を行う予定であります。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等による円高修正・株高を受けて、輸出関連企業を中心とする企業業績の好転や個人消費の持ち直しにより、緩やかな景気回復が見られるものの、海外では欧州景気の停滞や新興国経済の減速など、国内景気を下振れさせる要因を抱えており、先行きが不透明な状況であります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、自動車部品部門では、ガソリン価格高騰を背景とする低燃費車への消費者ニーズの高まりや自動車メーカ各社の新車投入による国内販売における軽自動車シェアの伸長、消費税増税前の駆け込み需要の影響を受け堅調に推移しましたが、アセアン地域の自動車生産は自動車購入補助金やガソリン補助金の打ち切り等により停滞感も出てきました。

一方、建設機械部門では、国内販売は震災復興需要、排ガスTier 4 規制対応機や消費税増税前の駆け込み需要により好調に推移したことにより、資源需要低迷によるアジア・豪州等の資源国での大型鉱山機械販売の不振をカバーし、売上は前年に比べ増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は133億1千3百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。部門別では、自動車部品は91億8千4百万円（前年同四半期比1.5%減）、建設機械部品は35億8千8百万円（前年同四半期比2.7%増）、農業機械部品は3億3千万円（前年同四半期比15.2%減）、その他部品は2億9百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

損益面におきましては、営業利益は11億8千1百万円（前年同四半期比21.3%増）、経常利益は11億4千6百万円（前年同四半期比13.0%増）、四半期純利益は7億1百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

## (2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億9千3百万円増加し、228億7千万円となりました。

資産の部では、流動資産は、現金及び預金が18億4千4百万円増加、有価証券（譲渡性預金）が8億5千万円減少、受取手形及び売掛金が6億9千4百万円減少、電子記録債権が2億1千8百万円減少、たな卸資産が3億1千9百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億8千6百万円増加し、132億8千5百万円となり、また固定資産は有形固定資産が2億8千8百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、95億8千5百万円となりました。

負債の部では、流動負債は、支払手形及び買掛金が5億7千万円増加、短期借入金の返済等により短期借入金が2億2千8百万円減少、その他に含まれている未払金が5億8千9百万円減少、未払法人税等が2億2千9百万円増加したこと等により、前連結会計年度末とほぼ変わらず、117億2千4百万円となり、固定負債は、長期借入金の借入により長期借入金が4億2千8百万円増加したことにより前連結会計年度末に比べ4億2千6百万円増加し、9億7千3百万円となりました。

純資産は、四半期純利益7億1百万円計上による増加、剰余金の配当による1億2千6百万円の減少、為替換算調整勘定計上による1億2千6百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億6千8百万円増加し、101億7千2百万円となりました。

## (3)キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億9千4百万円増加し、25億6千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は27億9千6百万円（前年同四半期は8億5千8百万円の増加）となりました。この主な要因は、増加要因として税金等調整前四半期純利益11億3千1百万円、減価償却費7億4千6百万円、売上債権の減少9億1千3百万円、仕入債務の増加5億7千万円、減少要因としてたな卸資産の増加3億1千9百万円、法人税等の支払額1億9千7百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は17億5千9百万円（前年同四半期は2億8千万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出17億5千4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は6千8百万円(前年同四半期は1億4千7百万円の減少)となりました。この主な要因は、短期借入金の返済3億円、長期借入金の借入5億円、配当金の支払1億2千5百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

研究開発費発生額については、現状、費用区分が困難なため、算出していません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,786,910	15,786,910	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株であります。
計	15,786,910	15,786,910		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		15,786,910		2,143,486		1,641,063

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ダイハツ工業(株)	池田市ダイハツ町1番1号	5,185	32.84
(株)メタルワン	東京都港区芝3丁目23番1号	1,289	8.16
(株)ゴーシュー	滋賀県湖南市石部緑台2丁目1番1号	641	4.07
(株)神戸製鋼所	神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2番4号	635	4.02
犬塚好次	埼玉県ふじみ野市	585	3.71
(株)滋賀銀行	滋賀県大津市浜町1番38号	500	3.17
元村寿吉	愛知県名古屋市東区	303	1.92
(株)りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	300	1.90
桜井敏夫	滋賀県野洲市	279	1.77
北愛知リース株式会社	愛知県名古屋市北区若葉通1丁目38番	257	1.63
計		9,974	63.18



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 23,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,732,000	15,732	
単元未満株式	普通株式 31,910		
発行済株式総数	15,786,910		
総株主の議決権		15,732	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株含まれています。  
また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれています。  
2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式577株が含まれています。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) (株)メタルアート	草津市野路三丁目2番18号	23,000		23,000	0.15
計		23,000		23,000	0.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	720,928	2,565,262
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 4,432,410	3,738,333
電子記録債権	3,915,197	3,696,220
有価証券	850,000	-
製品	329,669	228,235
仕掛品	895,354	1,234,864
原材料及び貯蔵品	1,102,867	1,184,443
未収入金	264,435	261,759
その他	188,335	376,214
流動資産合計	12,699,199	13,285,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,318,551	2,242,369
機械装置及び運搬具(純額)	3,758,895	3,254,999
土地	2,056,775	2,529,412
その他(純額)	569,064	965,093
有形固定資産合計	8,703,287	8,991,875
無形固定資産	48,318	47,426
投資その他の資産		
投資有価証券	359,551	391,063
その他	172,457	160,926
貸倒引当金	6,080	6,080
投資その他の資産合計	525,928	545,910
固定資産合計	9,277,535	9,585,212
資産合計	21,976,735	22,870,547
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,050,155	6,620,378
短期借入金	3,600,000	3,372,000
未払法人税等	211,330	441,065
賞与引当金	301,605	335,733
役員賞与引当金	17,000	7,500
その他	1,545,461	947,926
流動負債合計	11,725,553	11,724,603
固定負債		
長期借入金	-	428,000
退職給付引当金	241,830	235,699
役員退職慰労引当金	80,700	56,650
資産除去債務	45,542	66,907
その他	178,731	186,162
固定負債合計	546,804	973,419
負債合計	12,272,358	12,698,023

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,143,486	2,143,486
資本剰余金	1,641,063	1,641,063
利益剰余金	5,789,962	6,365,739
自己株式	6,976	7,242
株主資本合計	9,567,536	10,143,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,840	156,221
為替換算調整勘定	-	126,744
その他の包括利益累計額合計	136,840	29,477
純資産合計	9,704,376	10,172,524
負債純資産合計	21,976,735	22,870,547

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,477,914	13,313,671
売上原価	11,869,367	11,429,629
売上総利益	1,608,546	1,884,042
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 634,590	<sup>1</sup> 702,748
営業利益	973,956	1,181,293
営業外収益		
受取利息	130	18
受取配当金	3,360	3,344
受取ロイヤリティー	9,750	10,620
物品売却益	7,664	5,667
受取保険金	16,529	133
その他	15,897	22,492
営業外収益合計	53,331	42,277
営業外費用		
支払利息	8,907	8,838
為替差損	-	59,277
その他	3,580	9,214
営業外費用合計	12,487	77,329
経常利益	1,014,800	1,146,241
特別損失		
固定資産処分損	2,338	14,700
特別損失合計	2,338	14,700
税金等調整前四半期純利益	1,012,462	1,131,541
法人税等	407,837	429,651
少数株主損益調整前四半期純利益	604,625	701,889
四半期純利益	604,625	701,889

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	604,625	701,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,090	19,380
為替換算調整勘定	-	126,744
その他の包括利益合計	39,090	107,363
四半期包括利益	565,534	594,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,534	594,525
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,012,462	1,131,541
減価償却費	674,385	746,455
賞与引当金の増減額(は減少)	1,442	34,127
役員賞与引当金の増減額(は減少)	2,500	9,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,665	6,130
受取利息及び受取配当金	3,491	3,362
支払利息	8,907	8,838
為替差損益(は益)	-	59,277
有形固定資産除却損	2,345	16,806
売上債権の増減額(は増加)	2,133,439	913,053
未収入金の増減額(は増加)	3,462,313	2,676
たな卸資産の増減額(は増加)	8,455	319,652
仕入債務の増減額(は減少)	1,476,320	570,222
その他	104,162	144,806
小計	1,428,822	2,999,546
利息及び配当金の受取額	3,491	3,362
利息の支払額	9,020	9,013
法人税等の支払額	564,433	197,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,859	2,796,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	1,390	1,510
有形固定資産の取得による支出	275,071	1,754,686
その他	4,285	3,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	280,747	1,759,551
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	-	300,000
長期借入れによる収入	-	500,000
リース債務の返済による支出	6,484	5,763
自己株式の取得による支出	27	266
配当金の支払額	141,066	125,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,578	68,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	111,325
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	430,533	994,333
現金及び現金同等物の期首残高	474,673	1,570,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 905,206	<sup>1</sup> 2,565,262

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
連結の範囲の重要な変更	
第1四半期連結会計期間より、新たに設立したPT. METALART INDONESIAを連結の範囲に含めています。	

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
1 税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しています。  
なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	29,377千円	千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの		1 販売費及び一般管理費の主なもの	
運賃保管料	283,074千円	運賃保管料	314,104千円
給与手当・賞与等	159,921千円	給与手当・賞与等	169,954千円
賞与引当金繰入額	32,165千円	賞与引当金繰入額	36,324千円
役員賞与引当金繰入額	8,500千円	役員賞与引当金繰入額	7,500千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,050千円	役員退職慰労引当金繰入額	8,750千円
退職給付費用	4,581千円	退職給付費用	2,796千円



(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  現金及び現金同等物の範囲と現金及び預金勘定は、一致しています。	同左

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	141,876	9	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	126,112	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	38円35銭	44円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	604,625	701,889
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	604,625	701,889
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,764	15,763

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社メタルアート  
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員  
業務執行社員

公認会計士 河瀬 博 幸

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メタルアートの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メタルアート及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。